

## 005 Cacco

作品名	作家名	感想	評価
できれば ムカつかずに 生きたい	田口ランディ 晶文社	初期のエッセイ。家族について詳しく書かれていて最初からこれを読めば「コンセント」が彼女の家族の話だとすぐわかったのだと思う。ずいぶん回り道をしてしまったけれどそれはそれでいいかな。あんなハードな話が実体験に基づくなんて思いもしなかった。全ての作品は作家そのものを映すのだろうけれど、わたしは特にそれが色濃く反映されているものが好きだ。実体験に勝るものなし。彼女の家族感はやや歪んでいてとっても参考になる”^_^”	☆☆☆☆☆
極まる	長野まゆみ 大和書房	身内の女子大学生が今はまっている作家さんと聞いて興味を持って読んだ。彼女はミスチル、萩尾望都が好きだということからどこかに共通点があるやもしれぬ。男を愛する性癖の持ち主である大学生と予備校教師の奇妙な同棲生活。この大学生がとっても魅力的。知的で冷静で多くを語らず欲望なんてのと無縁に見える。社会に逆らわず、しかしひっそり強い我を持っている。彼と彼の思い人との関わり方もとってもいい。くらもちふさこさん描くところの男の子に似てる。くらもち姉妹が描く男の子はすっごくあたし好みなんだなあ〜。	☆☆☆☆
クライマーズ・ ハイ	横山秀夫 文春文庫	「半落ち」とかは好きじゃないけどこの作品は面白かった！御巢鷹山に落ちた日航機事件に関わる地元群馬の新聞社デスク悠木。作者はもと群馬上毛新聞の記者だったとか。そのときの経験が上手く生かされているのか読み応えがあります！ラストが大団円で締めくくられるのもいいし、若手記者もとても生き生きと描かれていて泣かせます。読んでいて天童荒太を思い出しました。何気に似てるんじゃないかな。	☆☆☆☆★